

## 菅原 憲一（大学院保健福祉学研究科兼務）

### 1 著書

- 1) シンプル理学療法学シリーズ. 物理療法学テキスト改訂第3版. 『第3章：電磁エネルギーとは、磁気エネルギー,』南光堂 2021.1.20

### 2 学術論文

- 1) Naoshin Yoshida, Tomotaka Suzuki, Kakuya Ogahara, Toshio Higashi, Kenichi Sugawara. Somatosensory temporal discrimination threshold changes during motor learning. Somatosensory Mot Res. 2020 Dec;37(4):313-319. doi: 10.1080/08990220.2020.1830755.
- 2) Kenichi Sugawara. Change in motor cortex activation for muscle release by motor learning. Phys Ther Res. 2020 Dec 4;23(2):106-112. doi: 10.1298/ptr.R0010.
- 3) Keisuke Ikeda, Tsubasa Kaneda, Yoshihiro Kai, Kenichi Sugawara, Tetsuya Tanioka, Masayoshi Tomizuka, Yueren Zhao, Kensaku Takase, Michael Joseph S. Dino, "Development of a Knee Joint Assist Suit with a Velocity-Based Mechanical Safety Device: Control Method and Experiments", Enfermeria Clinica (ELSEVIER), 30(S1), pp. 23-26, 2020.
- 4) Ryuichi Tanioka, Yoshihiro Kai, Sugawara Kenichi, Kyoko Osaka, Tetsuya Tanioka, Kensaku Takase, Rozzano Locsin, "Proposing an Automatic Evaluation Method of Shoulder Joint ROM during Calisthenics Exercises of Older Adults as Adjunct to the Radio Exercise Program of Pepper", Proceedings of 2020 IEEE/SICE International Symposium on System Integration, pp. 784-789, 2020.
- 5) Yoshihiro Kai, Keisuke Ikeda, Atsushi Kaneta, Tsubasa Kaneda, Kenichi Sugawara, Masayoshi Tomizuka, Tetsuya Tanioka, Kensaku Takase, "Design of a New Compact Velocity-Based Mechanical Safety Device for a Knee Joint Assist Suit", Proceedings of the 2020 IEEE/SICE International Symposium on System Integration, pp. 628-633, 2020.
- 6) A Study on the Effect of Mental Practice Using Motor Evoked Potential-Based Neurofeedback. Daiki Matsuda<sup>1</sup>, Takefumi Moriuchi<sup>1</sup>, Yuta Ikio<sup>1</sup>, Wataru Mitsunaga, Kengo Fujiwara, Moemi Matsuo, Jiro Nakamura, Tomotaka Suzuki, Kenichi Sugawara and Toshio Higashi\* Front. Hum. Neurosci., 12 February 2021 | <https://doi.org/10.3389/fnhum.2021.637401>

### 3 その他の著作

- 1) 予測の有無が筋弛緩に及ぼす影響について：松本仁美，鈴木智高，菅原憲一。 研究助成報告 理学療法-技術と研究-49号 P.103-105. 2021年2月

### 4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本基礎理学療法学術大会 演題査読委員
- 2) 『理学療法学』 編集委員

## 3) 『理学療法学』 論文査読

## 5 社会貢献

- 1) 三浦市障害者介護給付等の支給に関わる審査委員
- 2) 日本赤十字社神奈川県支部 評議員
- 3) 東海大学健康科学部社会福祉学科非常勤講師 「リハビリテーション論」
- 4) 東京都立大学 承認選考委員会外部委員
- 5) 東京都立大学 人事外部委員

## 7 学会等での活動

- 1) 先端技術フォーラム、機械・ロボットを介護・リハの現場に導入する際のバリアは何か?—現場を考慮した機械設計を目指して—【リハビリテーションの現場に工学機器を導入する際のバリアー各種病態との関連から—】菅原憲一. 2020 日本機械学会年次大会. 2020年9月13日(日)～16日(水)
- 2) 変速トレッドミルが歩行動作の運動学的パラメータに与える影響. 小久江 智耶、甲斐義弘、横内 佑哉、岡野 将也、竹中 悠真、菅原 憲一. 第25回日本基礎理学療法学会. 2020.12.12-2020.12.18
- 3) 下肢筋出力課題を用いた運動学習効果の検討—上位・下位運動中枢の経時的興奮性変化に着目して—. 近藤 翔平、菅原 憲一、鈴木 智高. 第25回日本基礎理学療法学会. 2020.12.12-2020.12.18
- 4) 予測の有無が筋弛緩制御に及ぼす影響について松本 仁美、鈴木 智高、菅原 憲一. 第25回日本基礎理学療法学会. 2020.12.12-2020.12.18
- 5) 下肢の同期タッピング課題における感覚入力の違いがリズム形成に与える影響. 沼田 純希、寺尾 安生、尾張 望美、柿崎 千穂、菅原 憲一、宇川 義一、古林 俊晃. 第25回日本基礎理学療法学会. 2020.12.12-2020.12.18

## 8 学内教育活動

- 1) 基礎運動療法学における視聴覚教材作成、運動療法各種手技に関する演習指導の開発
- 2) 電気生理診断特論における視聴覚教材および実習指導教材作成、実験結果発表指導
- 3) 大学院博士前期課程『運動機能制御学特論および特論演習』における実験方法論および講義視覚教材作成
- 4) 大学院博士後期課程『リハビリテーション病態解析学特論および特論演習』における実験指導
- 5) 大学院修士博士前期課程院生 (M1 ; 2名, M2 ; 3名) の指導教員
- 6) 大学院博士後期課程院生 2名 (D2 : 2名, D3 : 2名) の指導教員
- 7) 博士論文審査

## 9 学内各種委員会活動

- 1) 教育研究審議会 委員
- 2) 研究科運営会議 委員長
- 3) 総務企画委員会 委員

- 4) 全学入試委員会 委員
- 5) 自己評価審査会 委員
- 6) COI 委員会 委員

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 平成 29 年度～令和 2 年度 科学研究費助成（基盤研究 C）研究代表者
- 2) 令和 2 年度～令和 5 年度 科学研究費助成（基盤研究 C）研究代表者

## 米津 亮（大学院保健福祉学研究科兼務）

### 2 学術論文

- 1) 米津 亮, 鈴木 淳也, 斎藤 聡佳, 山縣 学, 成澤 雅紀, 神尾 昭宏, 藤田 暢一, 田邊 憲二, 藤本 康浩, 大東 哲也, 宮谷 定行, 淵岡 聡, 清水 順市. 蹴り出しを改善する短下肢装具足底部の開発—脳卒中片麻痺者に対する装着効果について—. 日本義肢装具学会誌 36 (3) .208-212.

### 4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) A-STEP 機能検証フェーズ 専門委員 (平成 31 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日)
- 2) 日本学術振興会 科学研究費助成事業 専門委員 (平成 29 年度)
- 3) 理学療法・作業療法国家試験 幹事委員 (令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日)

### 5 社会貢献

- 1) 脳性麻痺者の車椅子陸上スポーツ指導

### 7 学会等での活動

- 1) 米津 亮, 鈴木 淳也, 斎藤 聡佳, 成澤 雅紀, 神尾 昭宏, 藤田 暢一, 淵岡 聡. つま先部に改良を加えた Gait Solution 短下肢装具 が反張膝を呈する脳卒中片麻痺一事例の歩行に及ぼす影響.第 36 回日本義肢装具学会 (令和 2 年 10 月 2 日)
- 2) 米津 亮, 鈴木 淳也, 斎藤 聡佳, 成澤 雅紀, 古屋 美紀, 神尾 昭宏, 藤田 暢一, 淵岡 聡. 脳卒中片麻痺患者の歩行蹴り出し改善に向けた探索研究—Gait Solution 短下肢装具の足底部の改良効果—.第 18 回神経理学療法学術大会 (指定口述演題) (令和 2 年 11 月 28 日)

### 8 学内教育活動

- 1) 1 年次必修科目「理学療法学概論」における視聴覚教材の作成
- 2) 1 年次必修科目「保健医療福祉論」における視聴覚教材の作成
- 3) 1 年次必修科目「理学療法学概論演習」における視聴覚教材の作成
- 4) 1 年次必修科目「運動学 I」における視聴覚教材 (オンデマンド動画) の作成
- 5) 3 年次必修科目「小児中枢神経系理学療法学」における視聴覚教材 (オンデマンド動画) の作成
- 6) 4 年次必修科目「卒業研究」における指導 (1 名)
- 7) 大学院「運動機能障害理学療法学特論」における講義視聴覚教材作成
- 8) 大学院博士後期課程 D3 最終審査 (主査: 2 名) (副査 1 名)
- 9) 大学院博士前期課程 M2 最終審査 (主査 1 名)
- 10) 理学療法学専攻 理学療法見学実習・評価学実習・総合臨床実習 I・総合臨床実習 II 実習要綱作成
- 11) 理学療法学専攻 理学療法見学実習・評価学実習・総合臨床実習 I・総合臨床実習 II コロナウイルス対策 実習要綱作成
- 12) 理学療法学専攻 FD「診療参加型臨床実習について」(講師: 倉敷平成病院: 山下昌彦)

先生) 企画 (令和 2 年 11 月 5 日)

- 13) 理学療法学専攻 FD「客観的臨床能力試験について」(講師:藤田医科大学:横田元美先生) 企画 (令和 3 年 3 月 4 日)

## 9 学内各種委員会活動

- 1) 大学院保健福祉学研究科入試委員 委員(平成 31 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日)
- 2) 研究科運営委員会 委員 (平成 31 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日)
- 3) 地域貢献研究センター研究支援部門 部門長(平成 31 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日)
- 4) 地域貢献研究センター研究支援部門 科研費調書作成のための研修会 講師 (合計 4 回)
- 5) リハビリテーション学科理学療法学専攻 専攻長(令和元年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日)

## 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 研究代表者:米津 亮  
研究課題名:蹴り出し推進型短下肢装具の開発～歩行特性を再現する加工技術の確立～  
補助金名:科学技術振興機構平成 30 年度研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)  
産学共同フェーズ シーズ育成タイプ  
交付金額:2,500 千円(令和 2 年度)  
研究期間:2018 年 10 月 1 日-2021 年 3 月 31 日(2 年半)
- 2) 研究代表者:米津 亮  
研究課題名:蹴り出しを改善できる足関節制御機能付き短下肢装具用ソールの開発  
補助金名:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B)  
交付金額:1,380 千円(令和 2 年度)  
研究期間:2018 年 4 月 1 日-2021 年 3 月 31 日(4 年間)
- 3) 研究分担者:米津 亮(研究代表者:清水順市)  
研究課題名:児童用白杖グリップの開発と児童用白杖導入マニュアルの作成  
補助金名:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)  
研究期間:2018 年 4 月 1 日-2021 年 3 月 31 日(3 年間)
- 4) 研究分担者:米津 亮(研究代表者:大島憲子)  
研究課題名:行動・心理症状(BPSD)に対する症候対応型認知症ケア技術の開発  
補助金名:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)  
研究期間:2019 年 4 月 1 日-2022 年 3 月 31 日(3 年間)
- 5) 研究分担者:米津 亮(研究代表者:岩田 晃)  
研究課題名:立位姿勢のタイプ分けに基づく歩行速度の規定要因分析および介入プログラムの開発  
補助金名:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)  
研究期間:2020 年 4 月 1 日 - 2023 年 3 月 31 日(3 年間)

## 14 その他

- 1) 大阪府立大学地域保健学域総合リハビリテーション系理学療法学専攻 非常勤講師  
「発達理学療法学Ⅰ」(平成31年4月1日～令和3年3月31日)
- 2) 広島大学医学部保健学科理学療法学専攻 客員教授「小児機能診断学特論」「小児神経系理学療法学」(平成31年～令和3年3月31日)
- 3) 東京家政大学リハビリテーション学科理学療法学専攻 非常勤講師「発達と理学療法」  
「発達と理学療法演習」(平成31年4月1日～令和3年3月31日)
- 4) 大阪府立大学大学院総合リハビリテーション学研究科 客員研究員(平成31年4月1日～令和3年3月31日)

## 隆島 研吾 (大学院保健福祉学研究科兼務)

### 1 著書

- 1) 隆島研吾 (単著) : 家庭でできる転倒予防トレーニング. 法研. 東京. 2021
- 2) 隆島研吾 (共著) : 「国際疾病分類 (ICD) と国際障害分類 (ICIDH)、国際生活機能分類 (ICF)」, 理学療法原論, 公益社団法人日本理学療法士協会編, 日本理学療法士協会, 東京, 95-100, 2021.2

### 2 学術論文

- 1) 井上 宣充、隆島研吾、高木峰子、島津尚子 : 高齢心不全初回入院患者と担当理学療法士の必要と考える退院支援の類型化 : Q 技法による因子分析、リハビリテーション連携科学 21 (1) : 41-52. 2020
- 2) 石川秀太、隆島研吾、島津尚子他 : 進行および末期消化器がん患者におけるリハビリテーションの有用性—がん疾患特異的 Quality of Life 評価法を用いた前向き観察研究一、理学療法—技術と研究— 48 : 53-60. 2020
- 3) 下田栄次、隆島研吾 他 : 災害理学療法と災害リハビリテーション支援に関する理学療法士の意識調査、理学療法—技術と研究— 48 : 61-69. 2020

### 3 その他の著作

- 1) 隆島研吾 : ヒューマンサービス研究 10, 神奈川県立保健福祉大学ヒューマンサービス研究会, 2021.3
- 2) 隆島研吾 : 「継往開来」・「原点回帰」: 線お会い理学療法士からのアドバイス、理学療法—技術と研究— 48 : 37-40. 2020

### 4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 相談役
- 2) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 表彰審査委員会委員
- 3) 公益社団法人日本理学療法士協会 日本地域理学療法学会 運営幹事  
・学会内 COVID-19 対応対策委員会 (地域、制度面) 相談役
- 4) 公益社団法人日本理学療法士協会 理学療法士労働環境委員会委員長 (常設委員会)
- 5) 神奈川リハビリテーション研究会 監事
- 6) 公益財団法人日本訪問看護財団 研究倫理審査委員会委員
- 7) 国土交通省 道路空間のユニバーサルデザインを考える懇談会 委員
- 8) 川崎市 障害者政策審議会 委員
- 9) 川崎市 障害程度区分認定審査会 委員
- 10) 川崎市 地域リハビリテーションコーディネーター
- 11) 川崎市 福祉サービス第3者評価事業推進委員会委員
- 12) 川崎市 施設整備事業選定委員会 委員
- 13) 川崎市 施設整備事業選定委員会障害施設部会 部会長
- 14) 川崎市 指定管理施設評価委員会 委員
- 15) 三浦市 自立支援協議会 座長 (学識経験者)

16) 三浦市 障害者福祉計画推進懇談会 (学識経験)

17)

## 5 社会貢献

- 1) 知的障害者施設綾瀬ホーム 相談員
- 2) 令和2年度 横須賀市リハビリテーション専門職派遣事業連絡会 講師
- 3) 公益社団法人川崎市看護協会 訪問看護養成講座講師「リハビリテーション」  
2020.10.1 川崎市看護協会会館
- 4) よこはま看護専門学校 講師「リハビリテーション医学」 2020.10.8  
よこはま看護専門学校

## 7 学会等での活動

- 1) 山岸 保則、隆島研吾、尼子雅美：短下肢装具の種類，足関節角度設定の違いによる移乗動作への影響 —健全者による比較—，第36回日本義肢装具学会学術大会
- 2) 隆島研吾：第7回日本地域理学療法学会 座長（一般演題 多職種連携Ⅰ）
- 3) 隆島研吾：第7回日本地域理学療法学会演題表彰審査委員
- 4) 隆島研吾：第37回神奈川県理学療法士学会 座長（一般演題 生活環境支援）

## 8 学内教育活動

- 1) 大学院) 保健福祉学研究科教授
- 2) 大学院) 地域理学療法学特論及び同演習における視聴覚教材作成
- 3) 学部) 日常生活活動学および同演習における視聴覚教材作成
- 4) 学部) 筋・骨格系運動療法学演習における視聴覚教材作成
- 5) 学部) 地域理学療法学および同演習における視聴覚教材作成
- 6) 学部) コロナによる学外実習の補完としての学内実習（SVとして8名、CVとして8名）
- 7) 学部) 卒業研究指導4年生2名、3年生2名
- 8) 大学院) 入試面接官
- 9) 学部) 入試面接官
- 10)

## 9 学内各種委員会活動

- 1) 教務委員会委員長
- 2) ヒューマンサービス研究会 世話人
- 3) 「什器の更新にかかる若手教職員の意見聴取」会議 オブザーバー
- 4) 人事面接官（看護学科、リハ学科）
- 5) リハビリテーション学科人事小委員会委員

## 11 学内研究助成金の受託

- 1) 令和2年度 地域貢献研究センター研究助成 23万円



## 内田 賢一（大学院保健福祉学研究科兼務）

### 1 著書

- 1) 内田賢一：体力低下. 奈良勲（監）、松尾善美・石井光昭（編）：パーキンソン病の理学療法（第2版）. pp236-243, 医歯薬出版, 2020.

### 4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人日本理学療法士協会 代議員（通年）
- 2) 公益社団法人日本理学療法士協会組織運営協議会 委員（通年）
- 3) 公益社団法人日本理学療法士協会関東甲信越ブロック生涯学習担当者会議 委員（通年）
- 4) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 理事（通年）
- 5) 第37回神奈川県理学療法士学会 世話人（通年）
- 6) 『The Journal of Physical Therapy Science』 論文査読委員（2020.4.1～2020.12.31）

### 5 社会貢献

- 1) 鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院 臨床アドバイザー（通年）
- 2) 横浜薬科大学薬学部臨床薬学科非常勤講師 「リハビリテーション概論」（通年）

### 7 学会等での活動

- 1) 内田賢一、橋立博幸、八並光信：地域在住高齢女性における長期間低強度のホームエクササイズが身体活動量および身体機能に及ぼす効果. 第57回日本リハビリテーション医学会学術集会. 2020. 8. 21. （京都）
- 2) 内田賢一、黒澤千尋、濱野俊明、南村幸代：地域在住高齢者の11年間にわたる努力性肺活量の変化. 第30回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会. 2021. 3. 19. （京都）

### 8 学内教育活動

- 1) VPI 職業興味検査を用いた理学療法士としてのキャリア教育
- 2) 学部) 生活環境学の講義および視聴覚教材作成
- 3) 学部) 筋・骨格系運動療法学の講義および視聴覚教材作成
- 4) 学部) 内部疾患系運動療法学の講義および視聴覚教材作成
- 5) 学部) 筋・骨格系運動療法学演習の講義および視聴覚教材作成
- 6) 学部) 理学療法管理学の講義および視聴覚教材作成
- 7) 学部) スポーツ理学療法学特論の講義および視聴覚教材作成
- 8) 学部) 卒業研究指導 4年生3名、3年生2名
- 9) 学部) 入試面接官
- 10) 大学院) 運動機能障害理学療法学特論の講義および視聴覚教材作成
- 11) 大学院) 博士前期課程 修士判定主査1名
- 12) 大学院) 博士前期課程 入試面接官

9 学内各種委員会活動

- 1) FD・SD委員会 委員
- 2) 研究助成専門部会 委員

12 受賞

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 永年功労賞受賞 2020.6.21

## 島津 尚子（大学院保健福祉学研究科兼務）

### 2 学術論文

- 1) 望月英樹, 島津尚子, 上杉上, 佐久間藤子, 水落和也, 中村健. 自己末梢幹細胞移植と理学療法によって復職に至った POEMS 症候群の 1 症例. 理学療法ジャーナル, 2021, 55(3),

### 4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会学術局学術編集部査読係係長 2020.4～2021.3
- 2) 公益社団法人神奈川県理学療法士会学術局新人教育部部員 2020.4～2021.3
- 3) 公益社団法人神奈川県理学療法士会学術局研究支援部研究助成制度審査員 2020.4～2021.3
- 4) 一般社団法人日本義肢装具学会研修委員 2020.4～2021.8
- 5) 神奈川リハビリテーション研究会幹事 2020.4～2021.3
- 6) 神奈川ボバース研究会 2020.4～2021.3

### 5 社会貢献

- 1) オンライン個別相談会 2020.8.
- 2) 神奈川県立横須賀総合高校大学説明会 2021.3

### 7 学会等での活動

- 1) 山村 芽衣, 佐伯 拓也, 崔 賢民, 島津 尚子, ら. THA 後の歩行解析により股関節機能の改善と他関節の異常運動を認めた 1 例. 第 57 回日本リハビリテーション医学会学術集会. 2020.19 - 22.
- 2) 吉川大志, 伊藤亮太, 飯田健治, 國友公太, 角田浩平, 渡邊なつみ, 島津尚子. 重度歩行障害を呈した脊柱管狭窄症に対する免荷式歩行器を用いた歩行練習の効果ーシングルケースデザインによる検討ー. 日本地域・支援工学・教育合同理学療法学会学術大会 2020.2020.11.7-8

### 8 学内教育活動

- 1) 成人中枢神経系運動療法学における視聴覚教材作成
- 2) 中枢神経系運動療法学演習における視聴覚教材作成
- 3) 義肢装具学における視聴覚教材作成
- 4) 義肢装具学演習における視聴覚教材作成
- 5) 筋・骨格系運動療法学演習における視聴覚教材作成
- 6) 中枢神経疾患アプローチ特論における視聴覚教材作成
- 7) 感覚運動アプローチ論における視聴覚教材作成
- 8) 理学療法学研究法演習 研究指導 3 名
- 9) 理学療法卒業研究 研究指導 2 名

- 10) 理学療法士国家試験対策 ショートレクチャー（義肢装具学・中枢神経系）担当
- 11) 評価学実習，総合臨床実習Ⅰ・Ⅱにおける現場訪問等
- 12) 大学院「地域理学療法学特論」における視聴覚教材作成
- 13) 博士前期課程 指導補助教員（2名）

#### 9 学内各種委員会活動

- 1) 入試委員会 2020.4.1～2021.3.31
- 2) WEB オープンキャンパス企画・準備 2020.8
- 3) WEB オープンキャンパス・個別相談会の企画・運営 2020.4～2021.3

#### 10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 研究代表者：黒河内仙菜（分担者 島津尚子）  
研究課題名：脳卒中患者に対する退院前訪問指導マニュアルの開発  
補助金名：日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究（c）  
（2020～2022年度）

#### 14 その他

- 1) 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター非常勤職員 2020.4～2021.3

## 鈴木 智高（大学院保健福祉学研究科兼務）

### 2 学術論文

- 1) Yoshida N, Suzuki T, Ogahara K, Higashi T, Sugawara K. Somatosensory temporal discrimination threshold changes during motor learning. *Somatosensory & motor research* 2020; 37
- 2) Nakashima A, Moriuchi T, Matsuda D, Hasegawa T, Nakamura J, Anan K, Satoh K, Suzuki T, Higashi T, Sugawara K. Corticospinal excitability during motor imagery is diminished by continuous repetition-induced fatigue. *Neural Regeneration Research* (in press)

### 4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人 神奈川県理学療法士会 新人教育部部員. 通年

### 5 社会貢献

- 1) 高大連携プログラム出張講座 静岡県立静岡城北高等学校. 2020.10.28
- 2) 公益社団法人神奈川県理学療法士会横須賀三浦ブロック運営委員. 通年

### 7 学会等での活動

- 1) 松本仁美, 他. (2020). 予測の有無が筋弛緩制御に及ぼす影響について, 第 25 回日本基礎理学療法学会学術大会, 2020.12.12.
- 2) 近藤翔平, 他. (2020). 下肢筋出力課題を用いた運動学習効果の検討-上位・下位運動中枢の経時的興奮性変化に着目して-, 第 25 回日本基礎理学療法学会学術大会, 2020.12.12.

### 8 学内教育活動

- 1) 筋・骨格系機能障害診断学. 2020.4～2021.3
- 2) 運動学演習. 2020.4～2020.9
- 3) 動作解析学. 2020.4～2020.9
- 4) 運動機能制御学特論. 2020.6～2020.7
- 5) 卒業研究法 学生 2 名指導. 2020.4～2021.3
- 6) 運動学Ⅱ. 2020.10～2021.3
- 7) 筋・骨格系運動療法学. 2020.10～2021.3
- 8) 臨床運動学. 2020.4～2020.9
- 9) 理学療法学研究法演習 学生 2 名指導. 2020.10～2021.3
- 10) 運動機能制御学特論演習. 2020.10～2021.3
- 11) 理学療法士国家試験対策ショートレクチャー. 2021.1.5
- 12) 評価学実習・総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ（学内実習含む）. 2020.4～2021.3
- 13) 博士前期課程 院生 4 名副指導教員. 2020.4～2021.3
- 14) 理学療法学専攻 17 期生担任

9 学内各種委員会活動

- 1) 研究倫理審査委員会, 自己評価専門部会担当. 通年

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 若手研究 (B): 4,030 千円、研究課題名「スマートフォンアプリを用いた歩行中の注意機能評価による効果的な転倒予防戦略」、鈴木智高 (研究代表者)
- 2) 基盤研究 (C): 4,680 千円、研究課題名「リズム追従運動による脳可塑性を誘導するリハビリテーションプログラムの開発」、鈴木智高 (研究分担者)、菅原憲一 (研究代表者)
- 3) 基盤研究 (C): 4,290 千円、研究課題名「運動スキル特異的電気刺激を用いた新たなリハビリテーションプログラムの開発」、鈴木智高 (研究分担者)、菅原憲一 (研究代表者)

14 その他

- 1) 湘南医療大学 非常勤講師. 通年
- 2) 医療法人徳昌会あきやま医院 非常勤職員. 通年

**藤田 峰子**（大学院保健福祉研究科兼務）

## 1 著書

- 1) 烏野 大, 川村博文 編著: 理学療法学講座 物理療法学: 電磁波療法. pp69-82. 医歯薬出版.2021.1.
- 2) 理学療法 臨床実習とケーススタディ 第3版: ロコモティブシンドロームに対する理学療法. 医学書院, pp192-196. 2020.12.

## 2 学術論文

- 1) 井上 宜充, 隆島 研吾, 高木 峰子, 島津 尚子: 高齢心不全初回入院患者と担当理学療法士の必要と考える退院支援の類型化 Q 技法による因子分析. リハビリテーション連携科学 21 巻 1 号,41-52.

## 3 その他の著作

- 1) The 6th Edition of the Incontinence Book 2016.一部 翻訳 (5. Posterior Tibial Nerve Stimulation (PTNS))

## 4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 生涯学習部員.
- 2) 『技術と研究』 論文査読
- 3) 一般社団法人日本物理療法学会 理事.
- 4) 一般社団法人日本物理療法学会 研究助成選考委員長.~2020.08
- 5) 『物理療法科学』 論文査読

## 8 学内教育活動

- 1) 理学療法学専攻 15 期生担任業務.
- 2) 卒業研究にて学生 3 名担当.
- 3) 徒手療法特論 (外部講師) 講義補助
- 4) 大学院博士前期課程 M1 1 名 指導教員
- 5) 大学院博士前期課程 M2 1 名 指導補助教員.
- 6) 大学院博士前期課程判定 主査 1 名、副査 1 名
- 7) 大学院「臨床理学療法学特論」における講義視聴覚教材作成、「特論演習」の研究指導
- 8) OSCE (客観的臨床能力試験) ワーキンググループ
- 9) 実習手引き作成ワーキンググループ
- 10) 4 年次必須科目「理学療法事例検討論」における外部講師に企画・依頼 (学外実習に行けなかった学生への新たな講義形態: 講師①横浜市脳卒中脊椎センター 溝部朋文先生 (令和 2 年 10 月 8 日)、講師②横浜市立大学附属病院 佐伯拓也先生 (令和 2 年 10 月 15 日)、講師③横須賀市立うわまち病院 岡山博信先生 (令和 2 年 10 月 26 日))
- 11) キャリアアップのためのセミナー企画 (講師①日本理学療法士協会副会長 斉藤 秀之先生 (令和 2 年 11 月 9 日)、講師②聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 近藤千佳 先生 (令和 2 年 12 月 10 日)、講師③中部学院大学 西嶋 力 先生 (令和 3 年

3月19日)

12) 大学院発表会博士前期課程 リハビリテーション領域座長

9 学内各種委員会活動

- 1) 学生委員会 委員及び卒業企画実行委員
- 2) 進路支援ワーキンググループ
- 3) 時間割ワーキンググループ

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 藤田峰子. 高齢女性尿失禁者の骨盤底筋収縮を促通する干渉低周波トレーニングの開発. 基盤研究 C.



## 黒澤 千尋

### 2 学術論文

- 1) Chihiro Kurosawa, Naoko Shimadu, Sumiko Yamamoto. Where do healthy older adults take more time during the Timed Up and Go test? , Journal of Physical Therapy Science, 32(10), 663-668, 2020.

### 4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 横須賀三浦地区 PT 懇話会 事務局担当 (2020. 4月～2021. 3月)

### 5 社会貢献

- 1) よこすか海辺ニュータウン地区社会福祉協議会との合同企画: 高齢者運動機能測定会の開催 (2020. 10月アンケート調査)
- 2) Web オープンキャンパス 模擬授業 (2020. 8月)
- 3) 神奈川県庁 新型コロナウイルス対策本部への応援派遣 (2021. 1月～2021. 2月)

### 8 学内教育活動

- 1) 運動学演習 (2年次前期) 5コマ, 計測および解析補助
- 2) 動作解析学 (3年次前期) 2コマ, 計測および解析補助
- 3) 日常生活活動学演習 (2年次後期) 2コマ
- 4) 機能診断学演習 (2年次後期) 1コマ
- 5) 中枢神経系機能障害診断学 (2年次後期) 15コマ
- 6) 解剖学実習引率 1回 (2020. 11月)
- 7) 国家試験対策ショートレクチャー 1コマ
- 8) 卒業研究指導 (4年生2名, 3年生2名)
- 9) 臨床実習オリエンテーション (3年次) 1コマ
- 10) 国家試験対策 (4年次) 随時実施
- 11) 学内実習指導 (4年次前期)
- 12) 非常勤講師および外部講師 調整担当 (2020. 4月～2021. 3月)
- 13) 徒手療法特論 (3年次後期), 精神疾患系理学療法特論 (3年次後期), 理学療法対象者行動論 (3年次後期) 非常勤講師対応
- 14) 人間総合科 試験監督補助 (後期試験)
- 15) OSCE 試験監督 (3年次後期)

### 9 学内各種委員会活動

- 1) 入試業務 (推薦入試, 共通テスト, 前期試験)
- 2) オープンキャンパス業務 (Web コンテンツ作成)
- 3) 国家試験対策担当 (2020. 4月～2021. 3月)
- 4) 卒業式・修了式及び入学式実行委員会 (2020. 4月～2021. 3月)
- 5) 保健医療福祉論 タスクフォース (2020. 4月～2021. 3月)

11 学内研究助成金の受託

- 1) 黒澤千尋，玉垣努，米津亮，白濱勲二，高木峰子，小池友佳子．地域在住自立高齢者における運動および認知機能の調査，地域貢献研究センター 研究助成 2020 年度採択（140 千円）

14 その他

- 1) 医療法人横浜柏堤会 よこすか浦賀病院 非常勤職員．2020．4月～2021．3月

## 小池 友佳子

### 2 学術論文

- 1) 小池友佳子, 杉澤秀博: 生活期リハビリテーションに従事する理学療法士の目標設定とその実現過程. 老年学雑誌, 2021; 11: 13-28.

### 4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 研究支援部員 通年

### 5 社会貢献

- 1) 逗子市一般介護予防事業「逗子どこでも体操」製作協力(「令和2年度通いの場の活動自粛下における介護予防のための広報支援事業」) 2020.6～9月
- 2) 逗子中部地域包括支援センター主催「逗子しおかぜ体操」体力測定会運営協力 2020.1.22、7.7
- 3) 逗子中部地域包括支援センター主催「逗子しおかぜ体操」体操教室再開協力・講義 2020.7.7
- 4) よこすか海辺ニュータウン地区社会福祉協議会共催 高齢者体力測定会アンケート実施 2020.10
- 5) リハビリテーション学科 高校生向けオンライン個別相談会 2021.3.25

### 7 学会等での活動

- 1) 第37回神奈川県理学療法士学会研究支援部主催 研究相談担当 2020.11.24、25

### 8 学内教育活動

- 1) 生活環境学(2年後期)科目責任者 2020.10.8～12.10
- 2) 機能診断学演習(2年後期)講義 2020.10.6～12.8
- 3) 筋・骨格系機能障害診断学(2年前期・後期)講義 2020.7.10、7.17、7.29、10.6、10.9
- 4) 中枢神経系疾患アプローチ特論(3年後期)授業補助 2020.10.13～11.10
- 5) 地域理学療法学(3年前期)講義 2020.6.19、6.29
- 6) 地域理学療法学演習(3年後期)授業補助 2020.10.7、10.23
- 7) 専攻内理学療法士国家試験対策ショートレクチャー講義 2020.11.24
- 8) 臨床実習事前オリエンテーション 2020.11.16、12.14

### 9 学内各種委員会活動

- 1) 理学療法学専攻見学実習・総合臨床実習担当補助、実習の手引き作成担当
- 2) 臨床実習指導者会議担当補助
- 3) 臨床実習指導者講習会ワーキンググループ
- 4) 専攻会議議事録担当

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 平成 29 年度科学研究費補助事業 若手研究 B「要支援高齢者における運動習慣の促進・阻害要因の量的・質的分析」研究代表者（平成 29 年～令和 2 年（3,120 千円））

11 学内研究助成金の受託

- 1) 地域貢献研究センター研究助成 「地域在住自立高齢者における運動および認知機能の調査」（令和 2 年度：140 千円）研究代表者：黒澤千尋（分担者：小池友佳子）

## 田中 繁治

### 2 学術論文

- 1) Tanaka S, Tamari K, Amano T, Robbins MS, Inoue Y, Tanaka R. (2020). Self-reported physical activity is related to knee muscle strength on the unaffected side and walking ability in patients with knee osteoarthritis awaiting total knee arthroplasty: a cross-sectional study. *Physiotherapy Theory and Practice*, 1-7.
- 2) Amano T, Tanaka R, Tanaka S. (2020). Clinical prediction rule for early recovery of knee range of motion after total knee arthroplasty: A prospective study. *Physical Therapy Research*: in press.
- 3) Tanaka S, Amano T, Uchida S, Ito H, Morikawa S, Inoue Y, Tanaka R. (2020). A clinical prediction rule for predicting a delay in quality of life recovery at 1 month after total knee arthroplasty: A decision tree model. *Journal of Orthopaedic Science*: in press.
- 4) Amano T, Tanaka S, Ito H. (2020). Identifying activity limitation and quality of life decline in patients with knee osteoarthritis who are scheduled to undergo total knee arthroplasty. *Journal of UOEH*: in press.
- 5) Ito H, Ichihara K, Tamari K, Amano T, Tanaka S, Uchida S. (2020). Factors characterizing gait performance of patients before and soon after knee arthroplasty. *Journal of Physical Therapy Science*: in press.
- 6) 伊藤秀幸, 市原清志, 玉利光太郎, 天野徹哉, 田中繁治, 内田茂博, 森川真也. (2020). 人工膝関節術前後における膝筋力と膝関節可動域の変化量に影響する要因分析. *宝塚医療大学紀要*: in press
- 7) 原田和宏、井上優、香川幸次郎、田中繁治、Sit Song、Seiha Suth. (2020). カンボジア王国の農村地域に暮らす脳卒中後遺症者の家族の介護負担感と今後の調査研究課題. *吉備国際大学保健福祉研究所研究紀要*, 21 ; 11-16.
- 8) 田中繁治. (2021). 膝関節の可動域評価の ABC 治療計画につなぐ応用的解釈まで. *理学療法ジャーナル*, 55(2), 164-169.
- 9) Tanaka S, Inoue Y, Kaminiwa Y, Mogi K, Tanaka R. (2021). Health-seeking behavior and awareness of physical therapy in Japanese residents in Thailand: A descriptive study. *Journal of Physical Therapy Science*: in press.

## 4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 生涯学習部部員 通年
- 2) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 臨床実習指導者講習会 講師 通年
- 3) 内閣府 国際アジア健康構想協議会 メンバー 通年
- 4) 専門学校川崎リハビリテーション学院同窓会理事

## 5 社会貢献

- 1) 公益社団法人日本理学療法士協会「カンボジアにおけるリハビリテーション専門職育成支援事業」通訳スタッフ 通年
- 2) JPTA Online Physical Therapy Exchange Program 2020-2021 特派員 通年
- 3) 文部科学省官民協働留学支援制度トビタテ！留学 JAPAN トビタテ社会人会メンバー 通年
- 4) 国際誌「Journal of Back and Musculoskeletal Rehabilitation」の査読を担当
- 5) 和文誌「保健医療学雑誌」の査読を担当
- 6) 公益社団法人神奈川県理学療法士会主催研修会 運営スタッフ 2021.2.11
- 7) 公益社団法人神奈川県理学療法士会主催研修会 運営スタッフ 2021.2.21
- 8) 公益社団法人神奈川県理学療法士会主催研修会 運営スタッフ 2021.3.6

## 6 講演，放送

- 1) 広島県理学療法士会主催 理学療法士講習会（応用編） 講師 2021.2.6

## 8 学内教育活動

- 1) 「機能障害評価学総論」における視聴覚教材の作成
- 2) 「理学療法学概論」における視聴覚教材の作成
- 3) 「解剖学実習Ⅱ」における講義補助
- 4) 「保健医療福祉論」における講義補助
- 5) 「ヒューマンサービス総合演習」における講義補助
- 6) 「理学療法学研究法演習」における研究指導（2名）
- 7) 臨床実習事前オリエンテーション
- 8) 学内 OSCE 試験官
- 9) 理学療法士国家試験対策ショートレクチャー
- 10) 理学療法学専攻実習調整担当者
- 11) 理学療法見学実習・評価学実習・総合臨床実習Ⅰ・総合臨床実習Ⅱの実習要綱作成
- 12) 理学療法見学実習・評価学実習・総合臨床実習Ⅰ・総合臨床実習Ⅱのコロナウイルス対策の実習要綱作成
- 13) 臨床実習指導者会議運営
- 14) 卒業研究関連業務担当
- 15) センター試験の試験官
- 16) 推薦入試および一般前期試験の採点委員
- 17) 地域貢献研究センター研究支援部門科研費調書作成のための研修会における講師
- 18) 教授会出席

## 9 学内各種委員会活動

- 1) 研究委員会 委員 通年
- 2) 実習センター運営委員会 委員 通年
- 3) ヒューマンサービス総合演習実行委員会 委員 通年
- 4) 卒業式・修了式および入学式実行委員会 委員 通年
- 5) 理学療法学専攻実習調整担当 通年

## 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 研究分担者: 田中繁治 (研究代表者: 米津 亮)  
研究課題名: 蹴り出し推進型短下肢装具の開発～歩行特性を再現する加工技術の確立～  
補助金名: 科学技術振興機構平成 30 年度研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)  
産学共同フェーズ シーズ育成タイプ  
交付金額: 2,500 千円 (令和元年度)  
研究期間: 2018 年 10 月 1 日-2022 年 3 月 31 日 (2 年半)
- 2) 研究分担者: 田中繁治 (研究代表者: 米津 亮)  
研究課題名: 蹴り出しを改善できる足関節制御機能付き短下肢装具用ソールの開発  
補助金名: 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究 (B)  
交付金額: 3,600 千円 (令和元年度)  
研究期間: 2018 年 4 月 1 日-2022 年 3 月 31 日 (4 年間)
- 3) 主任研究者: 田中繁治  
研究課題名: エビデンスに基づく人工股関節全置換術前後のシームレスな理学療法  
プログラムの構築  
補助金名: 日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究  
交付金額: 3,770 千円  
研究期間: 2020 年 4 月 1 日-2024 年 3 月 31 日 (4 年間)
- 4) 研究分担者: 田中繁治 (研究代表者: 田中 亮)  
研究課題名: 非薬物的介入を行っても効果が得られない難治性膝痛を有す高齢者の  
個人特性の解明  
補助金名: 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究 (C)  
交付金額: 4,290 千円  
研究期間: 2020 年 4 月 1 日-2023 年 3 月 31 日

## 11 学内研究助成金の受託

- 1) 田中繁治. 理学療法教育に関連するオンデマンド教材の作成と評価. 令和 2 年度神奈川県立保健福祉大学研究助成 B (奨励研究)  
交付金額: 1,102,480 円  
研究期間: 2020 年 5 月 27 日-2021 年 3 月 31 日

14 その他

- 1) 神戸大学大学院保健学研究科保健学研究員